

# 紀 勢 新 聞

(3)

月極購読料1500円・1部売り80円(税込)

## 避難に備え「白い小箱」導入

### 食料や簡易トイレなどセットに

賀田第6自治会

尾鷲市賀田町の第6自治会(24世帯)は、社団法人日本非常食推進機構(四日中市)が取り組んでいる災害用備蓄品「白い小箱」24個を購入した。

24日、箱詰め作業を行っている同市向井の紀北広域多機能型事業所「ゆめ向井工房」から、生活支援員の山本奉子さんから3人が賀田町を訪れ、自治会の榎本和也会長(59)に、非常食(賞味期限5年以上)や飲料水、ウエットティッシュ、簡易トイレなどが入った小箱24個を手渡した。

同自治会は、災害時に個々が避難生活に必要な物資を避難所に備蓄する取り組みの中で、前会長の大川善士さんが、地区

の防災意識を高めようと市防災センターに相談した。白い箱を紹介されサンプルを借り、自治会の総会で話題にしたところ、賞味期限が迫った場

合でも、海外を含め食料に困っている地域に贈ることのできる仕組みを紹介すると満場一致で導入が決まった。地区の高台にある災害避難所に保管



白い小箱を届けるゆめ向井工房の作業員

する。

同機構は、災害用非常食の設置を呼び掛ける活動を行っており、個人備蓄を推進するため、平成23年から「白い小箱」の普及運動を展開し、これまで県内で2万6500個を納入している。